



早朝からにぎわう「金浦市」

4月1日、金浦駅前広場で恒例行事「金浦市」が行われました。

会場には、市内外の業者や農家らの店が並び、早朝から多くの買い物客でにぎわいました。

＝関連記事 11 ページ＝

主な内容

- 市の組織改編等……………P 2～3
- 後期高齢者保険料率改定等…P 4～5
- 子ども手当・保育料……………P 6～7
- まちの話題……………P10～11

vol.110

2010

4.15

<http://www.city.nikaho.akita.jp>

白瀬南極探検隊 100 周年記念特集

その巻

連載のはじめに

100 年前の明治 43 年（1910）11 月 28 日、にかほ市金浦出身の白瀬矗（しらせのぶ）を隊長とする南極探検隊 27 人が日本人初の南極点到達を目指し、5 万人の群衆が見送る中、東京芝浦埠頭から南極探検船「開南丸」に乗船しました。白瀬隊は翌 29 日に出航しています。一行はさまざまな苦難を重ね、明治 45 年（1912）1 月 28 日、南緯 80 度 5 分西経 156 度 37 分に到達しました。そこへ日章旗を立て、一帯を「大和雪原（やまとゆきはら）」と命名したのです。同年 6 月 20 日に、隊員たちは全員無事に帰国しました。

未知の世界に挑む「探検」は未知を知る行為だけにあるのではなく、これから後の世界に生み出される、無限の可能性を引き出すことにあるといえます。子どもたちのころ、「にかほの地」で抱いた夢をもとに、目的を遂げた白瀬の偉業は、100 年前の日本人に夢と希望をもたらしました。彼のふるさとに暮らす、我々市民が、白瀬の魂（スピリッツ）を後世へ引き継ぐために、今後「広報にかほ」では白瀬や探検隊員の人物像、足跡などを探り、現代の南極観測につながる業績などをまとめて紹介します。

▶南極公園にある実寸大遊具「開南丸」後ろは白瀬南極探検隊記念館



白瀬日本南極探検隊
 100 周年記念事業推進事務局
 （白瀬南極探検隊記念館内）
 ☎ 38-4670



写真：白瀬矗
 （1861～1946）



未知に挑む
 ～南十字星のもとに～



▲白瀬南極探検隊・三宅幸彦墨絵
 「南緯 65 度から 70 度の暴風圏を越える開南丸」

市や県などで組織する『白瀬日本南極探検隊 100 周年記念プロジェクト実行委員会』では開南丸の出航 100 周年となる平成 22 年から、24 年 1 月の大和雪原到達 100 周年までの間、さまざまな記念事業を計画しています。白瀬の偉業に思いをはせ、イベントなどをご注目ください。

※にかほ市内の小・中学生は白瀬南極探検隊記念館への入場が無料です。

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田 1 番地
 ☎ 0184-43-3200（代表）☎ 0184-43-7510（直通）
 ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp> 電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp



にかほ市は 2018/2022 日本招致のチームベースキャンプです。